

やってみよう!!

LPガスの安べ確認!

保存版

安べチェック① + 防災メモ

緊急関係連絡先

災害伝言ダイヤル	171	LPガス販売店
火事・救急	119	()
事故・事件	110	電気()
消防署()		水道()
警察署()		病院()

LPガスチェック

- LPガスの特徴
- 外の容器が倒れないようになっているか
- ガス栓(元栓)・容器バルブの閉め方
- マイコンメーターの復帰方法
- 携帯ラジオ 懐中電灯
- 緊急医療品
- () ()
- () ()
- () ()

非常用品リスト

安べチェック②

もしもの時の避難先は?

避難場所

家族の集合場所

災害時に備え
記入・確認をして
おきましょう。



やってみよう!! LPガスの安べ確認! チェック



安べチェック③

✓ LPガスを使うとき気をつけることは?

お手入れを!
こまめな換気や



必ず換気 しましょう!

換気扇を回したり、窓を開けて十分に換気を。給湯器など屋外設置をおすすめします。



点火・消火は 必ず目で 確かめて!

確認

ガス機器の近くに燃えやすいものは置かないでください。ガス使用時はその場を離れないでください。マッチなどで点火する場合は、点火後に器具栓を開いてください。

ガス機器の お手入れで 目詰まり解消!

コンロなどの目詰まりは不完全燃焼の原因となります。器具用ブラシでこまめにお掃除を。ガス器具のお手入れなどでネジなどを取り外す必要がある場合は、ご自身でお手入れせずに、必ずLPガス販売店にご連絡ください。

いつも青い炎で 使いましょう!

炎は必ず「青い炎」で、赤っぽい炎は不完全燃焼の状態です。



定期的にゴム管を点検、 早めの交換を!



三つ又禁止

ひび割れなどが発生しているゴム管は使用しないでください。交換時にはガス栓に適合するLPガス用ゴム管または専用ホースをご使用ください。ゴム管は、ガス栓の赤い栓のところまで差し込んで、ホームバンドでしっかりとめてください。

*ゴム管からのガス漏れの点検は、石けん水を塗り、泡が出るかどうかでわかります。
*ゴム管は長くしたり、物かけを通してたり、折り曲げたりしないでください。

ガス栓はきちんと開けて、 しっかり閉める!

ガスを使うときはガス栓を全開に、使い終わったら完全に閉めましょう。外出前やおやすみ前は閉まっているかご確認ください。使用していないガス栓は、必ずゴムキャップ及びガス栓カバーをつけてください。長期不在となる場合は販売店に連絡を!

使う燃焼器はLPガス用のものを
お使いください。 都市ガス用機器は使用できません。

安心チェック④

もしもガスが止まつたら？

安全の見張り番「マイコンメーター」はいろんな危険を察知して自動でガスを止める機能がついています！

もしもガスが
止まつたら？

次の手順で
復帰操作を
行ってください。

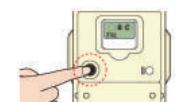
～マイコンメーターの復帰方法～ ※復帰操作をしても復帰しない場合(再び「ガス止」表示が出る)は、復帰操作を繰り返さずLPガス販売店の点検を受けてください。

1



- 器具栓をすべて閉めてください。
- 使っていないガスの元栓が閉まっていることを確認してください。

2



- 左側の復帰ボタンを押してください。
- 「ガス止」の文字が消えます。

3



- 液晶の文字とランプが点滅します。
- 1分間ほどお待ちください。
※ランプが復帰ボタン部にあるものもあります。

4



- 液晶の文字とランプが消えます。
- 復帰完了です。
- ガスは使えます。

点滅中はガスを
使わないで！

安全
第一

もしも
の時
は、
自
動
で
ス
ト
ッ
プ！



こんな時にガスが止まります。／

マイコンメーター

- ガス漏れや圧力などの異常があると、遮断弁が働き、ガスを遮断します。
- お風呂・コンロを消し忘れた時
 - ガスを使用中に
 - 震度5相当以上の地震が起きた時
 - 配管の折損やゴム管がはずれた時



復帰ボタン
表示ランプ

ヒューズガス栓

ゴム管がはずれるなどして、ガスが大量に流れた時に自動的にガスを止め、ガス漏れを防ぎます。



安全装置付きガス機器を
おすすめします！

Si センサーコンロ

安心便利な機能(調理油過熱防止装置・立ち消え安全装置)が付いています。



安全センサー
調理油過熱防止装置
鍋が過熱すると自動的にガスを止めます。



立ち消え安全装置
煮こぼれや吹きこぼれ、強風などで火が消えると、自動的にガスを止めます。



安心チェック⑤

そもそもLPガスってどんなガス？



LPガスは災害に
強いエネルギーです。

LPクリーン&エコ

LPガスは、環境負荷が相対的に小さく、化石エネルギーの中でもクリーンなエネルギーと位置付けられています。

LP空気よりも重い

LPガスは空気よりも重いので、もしガスが漏れると低いところや物かげにたまる性質があります。もしガスが漏れたら、特に下の方の風通しを良くしてガスを屋外に追い出しましょう。

LP燃焼にはたくさんの
空気(酸素)が必要です

室内でガスを使う時は、十分に換気してください。



LPニオイをつけている

もともとLPガスは無色無臭ですが、万が一ガス漏れした時に分かるようにニオイをつけています。

LP容器の中のガスは
液化している

LPガスは圧力をかけ、液化した状態で容器(ボンベ)に入っています。



安価チェック⑥

もしもの時はどうするの？

\もしも、ガス漏れに気づいたら… /

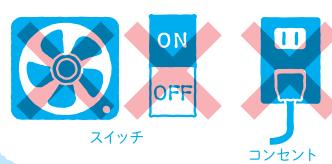
火気の使用は絶対やめて！

火気を使用している場合はすぐに火を止めます。ライターやマッチ、タバコの火はガスが引火する恐れがあり、大変危険です。



火花が出るものに触れないで！

換気扇・扇風機などのスイッチからは火花が出ることがあります。スイッチを「OFF」にすることでも火花が出るので絶対に触れないでください。



\ガスくさいと気づいたら… /

① ガスを外に追い出そう！

戸や窓を大きく開けて、換気しましょう。

※LPガスは空気より重いため、低いところにたまります。ご注意ください。

② すべての火を消し、ガス栓を閉めよう！

屋内ガス栓・器具栓も閉めましょう。容器バルブも閉めてください。



③ LPガス販売店または保安機関に連絡しよう！

連絡の際は、氏名・住所・状況などをお知らせください。点検を受けるまで、ガスを使用しないでください。

※販売店への連絡先は表紙に記載しています。※万が一、LPガスによる災害が発生した場合も連絡してください。



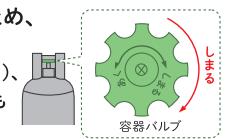
もしも自然災害が起こったら？



地震 火災 台風
洪水

① まずは身の安全を確保しましょう。

② 二次災害防止のため、器具栓・ガス栓を閉め(火をすべて消し)、屋外の容器バルブも閉めてください。



③ 容器が転倒しないように固定されているか確認しましょう。





公共施設にLPガス機器の常設常用を!



いつ起こるか予想のつかないさまざまな自然災害。地震などの災害では、もっとも重要と言われる48時間乗り切るために、避難所となる公共施設に災害に強いLPガス設備を設置するケースが増えています。LPガス設備は災害により一旦ガスがストップしても、個別点検をするだけで速やかに復旧できます。LPガスを供給する「災害対応型バルク」を核に、お湯を作る「給湯ユニット」、炊飯・調理のできる「炊き出しセット」、ガストーブ等を備えておけば、避難をしてきた人たちに炊き出しや暖房を提供できるばかりか、お風呂やシャワーなど衛生面での維持も可能です。

法律に基づいた
点検・調査にご協力を

①容器の交換時

LPガス容器・調整器・容器バルブ・ガス供給管などの外観点検

②1年に1回以上

地下室等(埋設管)の配管からのガス漏れ調査など(特定の設備が対象)

③4年内に1回以上

調整器からマイコンメーターまでの供給設備の点検、配管のガス漏れ調査、ガス機器や給排気設備などの調査などガス設備全般についての点検・調査

※点検・調査の結果、改善を指摘された設備については、改善や機器の交換などを行ってください。

安心チェック⑦ ✓ 点検についても知っておこう!

ガス設備の安全管理と点検責任について

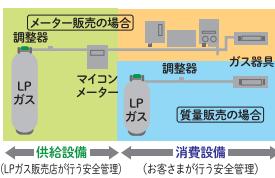
〈消費設備とは〉

日頃お使いになるガス器具のことです、マイコンメーターの出口からガス器具までを指します。メーターがない場合は、容器から燃焼器までの設備のことです。この部分の法律上の管理及び点検責任はお客様にあります。

〈供給設備とは〉

容器からマイコンメーターまでを指します。この部分はLPガス販売店が責任を持って安全管理します。

小型容器をご使用の際は、容器が倒れないように平らな場所で、直射日光や火気を避けて、風通しの良い場所に保管してください。また、横に寝かせて使用しないでください。不要になった容器は必ずLPガス販売店に返却してください。



ガス警報器のご使用にあたって

- ◎警報器が適正な位置に設置されているかを確認しましょう。(機器から4m以内、床上30cm以内)
- ◎警報器の電源プラグは常時コンセントに差し込んでください。
- ◎警報器の周囲に物を置かないようにしましょう。
- ◎警報器が交換期限内のものを確認しましょう。

※共同住宅、学校、病院などの人が多く集まる施設、地下室等に燃焼機器が設置されている場合には原則として法令によりLPガス用ガス警報器の設置が義務付けられています。

お知らせ

「安全制度」をご存知ですか!

(長期使用製品安全点検制度)

平成21年4月から製造・輸入する「特定保守製品」に点検制度が設けられました。特定保守製品を購入した場合は、「所有者登録」をしましょう。

平成21年4月より前に製造された製品は法定点検の対象外ですが、お客様からのご依頼があれば法定点検に準じた点検を実施しています。点検費用は有料です。器具メーカーにご相談ください。



福岡県からのお願い

1. 消費設備は4年に1回以上販売店(保安機関)の調査を受けてください。(法定調査)
 2. 一酸化炭素中毒を防止するために、燃焼器具を使うときは換気を確実に行ってください。また、不完全燃焼防止装置が付いていない器具を使用している場合は、不完全燃焼防止装置付きや屋外設置式への取替をご検討ください。
 3. 質量販売(※)によりガスを使うときも販売店の調査を受けてください。
- *質量販売…キャンプやお祭りなどでメーターを介さない供給方法

気をつけましょう!

自然排気式のふろがまをご使用の方に

右図のような自然排気式のふろがまを使用する時は、台所などの換気扇を使用しないでください。気圧の変化により排気ガスが逆流して、一酸化炭素(CO)中毒を起こすことがあります。また排気筒が壊れてしまったり、鳥の巣などでふさがれてしまうと適切な排気ができなくなります。こまめに点検しましょう。

小型湯沸器をお風呂や洗髪に使わないで!

小型湯沸器をお風呂や洗髪などで長時間使うと、不完全燃焼の原因となり、大変危険です。絶対におやめください。

*点火時やご使用中に火が消える場合は、安全装置が作動している可能性がありますので、再点火はせず、直ちに使用を中止して、ガス機器の購入先やLPガス販売店または保安機関にご連絡ください。

